

授業科目 装具学特論実習

| | | | | |
|----------------------|------|----|------|----|
| 【担当教員名】 笹本 嘉朝 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 義肢 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 60 |

| | | | | |
|------------------|-------|-------|----|-------|
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

【概要・一般目標：GI0】
 義肢装具士に求められる実践的な技能を身につけるために、症例もしくは仮想症例を通じて、医療面接、機能評価、採寸・採型、製作、および適合技術と関連する問題解決能力を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 医療面接を正しく行える。
2. 機能評価を正しく行える。
3. 得られた情報から装具の使用目的を明らかにし、これに合致するデザイン検討が行える。
4. 採寸・採型・トレースなど、対象身体部位の形状獲得作業が正しく行える。
5. 材料加工、装具構成要素の組立てを正しく安全に、かつ効率的に実践できる。
6. 装具の対象者への適合と評価を的確に行うことができ、適合に関する問題に正しく対処できる。
7. 情報整理、記録、およびこれらの報告が正しく行える。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
|-------|---------------------|-------|----------------------|
| 1-4 | 医療面接 | 1 | 実習 |
| 5-8 | 機能評価 | 2 | 実習 |
| 9-12 | 得られた情報に基づく装具のデザイン検討 | 3 | 実習 |
| 13-16 | 身体形状獲得および修正 | 4 | 実習 |
| 17-20 | 材料加工と組立て | 5 | 実習 |
| 21-24 | 仮合わせ適合のプロトコールと問題解決 | 6 | 実習 |
| 25-28 | 症例プレゼンテーション | 7 | ディスカッション |
| 29-30 | まとめ | | |

| | | | | |
|-------------------|-----------------|-------|-------|------------|
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | | | |
| 参考書 | 装具学特論に準ずる | | | |
| その他の資料 | 單元ごとに必要な資料を配布する | | | |

| | |
|---|---|
| 【評価方法】 併行して開講する『装具学特論』と共に、以下の二項目で総合評価する： 1. 技術レベル（臨床工程および製作工程） 2. 知識レベル（ケースレポート） | 【履修上の留意点】 授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。 欠席は1回につき-5点、遅刻は1回につき-2点、遅刻2回で1回の欠席とし最終評価から減点する。 |
|---|---|